

5. 初等教育（ブータン教育統計2019年）

5.1 拡張教室

拡張教室（ECR）の導入は、特に生徒が学校に通うために長距離の道を歩かなければならない僻地で、散在する村での教育環境の改善のために開始された。ECRは最寄りの学校（親学校）から拡張された教室であり、一般的にはラカン（寺院）、地域学習センター、非正規教育（NFE）センター、外来診察所、村の家、一時的な教室などに収容されている。ECRのクラスは、複数の学年で構成され、各学年の登録生徒数は少なく、親学校が教員、学習教材や全体の運営などに関して援助する。

表 5.1： 拡張教室の登録生徒数

性別	生徒数	割合
女子	795	50.57
男子	777	49.43
合計	1572	100

2019年の時点で、全国の74のECRに合計1572人の学生が在籍しており、そのうち795人が女子で、777人が男子である。ECRの生徒は、国の学校の対応学年への登録者全体のほぼ1%を占めている。

拡張教室の教員

表 5.2 は、2019年全国のECRで教える教員の総数を示している。

合計127人の教員がECRで教えており、そのうち77.2%が男性、22.8%が女性である。

表 5.2： 全国の拡張教室の教員数

性別	教員数	パーセント
女性	29	22.83
男性	98	77.17
合計	127	100

5.2 初等教育

初等教育への投資が、長期的には貧困と不平等の削減にプラスの影響を与えることは、一般的に合意されている。したがって、このことを認識して、ブータン王立政府は、子供達の通学のための歩行距離地域を減らすために、地域社会に近くなるように、小学校を設置してきた。

予備初等教育 (PP)

予備初等教育 (PP) は、初等教育最初の1学年であり、ブータンのPP学年に公式に登録できる年齢は、6歳以上である。

2019年の時点で表5.3に示すように、予備初等教育に11,852人の学生が在籍している。2018年の登録数と比較して1829人の生徒の減少がある。これは主に6歳以上になって登録が可能であるという教育省の取組みによるものである。

表 5.3 : 予備初等教育(PP) の登録生徒数

性 別	PP 登録生徒数	割合(パーセント)
女 子	5,830	49.19
男 子	6,022	50.81
合 計	11,852	100

表5.4に示すように、2019年の見かけの小学校受入率 (AIR : Apparent Intake Ratio) は98.7%である。2018年の102.7%から2019年の98.7%へのAIRの減少があった。AIRの減少は、学年PPに登録されている基準の6歳より年上の生徒や、より年下の生徒の登録生徒が減少したことを意味する。この表は、5年の期間にわたって、全国のPP学年を繰返す生徒の数が、徐々に減少していることも示している。

表 5.4: 総初等教育受入率と見かけの初等教育受入率 (2015-2019)

年 度	登録生徒数	再履修生	新規入学生	6歳の児童数	AIR (%)
2019	11852	294	11558	12004	98.7
2018	13681	357	13324	12975	102.7
2017	13249	395	12854	13939	92.2
2016	13565	553	13012	14229	91.4
2015	13882	587	13295	15014	88.6

表 5.5: PP学年登録者数 2015-2019

年 度	PP 登録生徒数			増 減	
	女 子	男 子	合 計	#	%
2015	6684	7198	13882	707	5.1
2016	6527	7038	13565	-317	-2.3
2017	6410	6839	13249	-316	-2.4
2018	6677	7004	13681	432	3.2
2019	5830	6022	11852	-1829	-15.4

表 5.5は、最近の5年間でPP学年に登録した生徒数を示す。2019年の急激な減少は、教育省が正しい年齢でPPに入学するよう奨励したことによるものである。

初等教育 (pp-VI)

ブータンの初等教育は、PPと呼ばれる1年間の予備教育の後の1学年から6学年まで合せて、7年間である。

表 5.6：初等教育への登録生徒数

クラス (学年)	女子	男子	合計
PP	5830	6022	11852
I	6570	6912	13482
II	6353	6708	13061
III	6267	6500	12767
IV	6769	7175	13944
V	6566	6442	13008
VI	6054	5726	11780
総合計	44409	45485	89894

表5.6は、初等教育における全学年の男女別登録生徒数を示している。国内で初等教育に登録している生徒数は89,894人であり、学校全体への登録者数の54%を占める。

表 5.7 年齢と初等教育登録者数の関係

クラス	正規の年齢	正規の年齢の登録者数 (%)					正規年齢より歳上の登録者数 (%)					正規年齢より歳下の登録者数 (%)				
		2015	2016	2017	2018	2019	2015	2016	2017	2018	2019	2015	2016	2017	2018	2019
PP	6	55.7	65.1	62.7	63.4	57.1	38.4	43.3	43.3	38.4	42.7	6.0	5.6	5.0	3.6	0.2
I	7	50.9	59.0	60.6	57.9	57.3	41.7	47.2	46.2	44.8	39.7	7.4	6.1	5.6	4.5	3.0
II	8	46.6	51.3	56.4	57.3	51.9	44.9	48.1	50.2	48.1	44.0	8.5	7.7	5.9	5.3	4.1
III	9	43.5	44.3	48.5	52.1	51.3	46.6	47.3	47.0	47.4	43.9	9.8	8.4	7.6	5.6	4.8
IV	10	35.1	46.7	43.3	47.5	46.0	53.0	64.6	57.7	55.2	48.9	12.0	10.5	8.4	7.6	5.1
V	11	31.1	37.2	41.8	38.5	41.8	55.4	63.6	62.2	54.2	51.2	13.5	14.0	9.9	8.1	7.1
VI	12	28.5	32.4	34.9	36.7	38.6	58.3	60.5	59.4	54.0	53.1	13.2	15.3	13.1	9.0	8.3
平均		41.6	48.0	49.7	50.5	49.1	48.3	53.5	52.3	48.9	46.2	10.1	9.7	7.9	6.2	4.7

表5.7は、初等クラスの年齢別入学率を示しており、公式の入学年齢がどの程度守られ、維持されているかを示している。この表は、2019年の主な登録の平均49.1%が、適切な年齢であることを示しているが、登録者の46.2%は正規の年齢より歳上で、4.7%は正規の年齢より歳下である。

小学校の教員数（2019年度）

質の高い効率的な教育のためには、学校の各々の学年で十分な数の教員が確保されていることが重要である。表5.8は、全国の小学校で教鞭をとる教員の総数が2481人であることを示しており、そのうち92.5%が公立学校の教員、7.5%が私立学校の教員である。ただし、中等学校で初等教育レベルを教える教員は、小学校の教員には含まれず、代わりに中等学校の教員に含まれる。

表 5.8 : 小学校の教員数

学校の種類	女性	男性	合計
公立	892	1,404	2296
私立	124	61	185
合計	1016	1465	2481

小学校教員の取得資格

公立の小学校で教える教員の最高資格は修士で、私立小学校での教員の最高資格は博士（1人）である。公立学校の教員の最大人数の資格は学士（1737人の教員）で、公立学校の教員の最小人数の資格は大学院卒業資格（PGディプロマ）の125人である。私立小学校の教員の最大人数の資格は、学士であり（430人の教員）、私立学校の教員の最小人数の資格は卒業証書（ディプロマ）を所有している（25人）。全国的に平均して、ほとんどの小学校教員は学士を取得している。

表 5.9 : 小学校教員の取得資格

取得資格	公立			私立		
	女性	男性	合計	女性	男性	合計
中等教育修了	0	0	0	62	34	96
ディプロマ	111	107	218	17	8	25
学士（バチェラー）	702	1,035	1,737	179	251	430
PGディプロマ(大学院卒業資格)	46	79	125	63	57	120
修士	33	183	216	25	64	89
博士（PhD）	0	0	0	1	0	1